

自治体経営研修「経営管理能力」（第1回）

【 日 時 】	第1回 令和3年10月28日（木）15:00～17:00
【 会 場 】	コンフォート新宿
【 受 講 者 数 】	98名
【 講 師 】	一般社団法人行政情報システム研究所 主席研究員 狩野 英司 氏
【 研 修 内 容 】	<p><目的></p> <p>管理監督層の職員が、人材育成に必要な専門知識や先進的事例を学び、人材育成能力の向上を図ることにより、各区における人材育成支援をはかる。また、組織運営上の問題に焦点をあて、職員がやりがいを持って働くことのできる職場づくりや組織の生産性等について考察し、組織経営力の向上を図る。</p> <div data-bbox="703 801 1409 1326" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;"><会場の様子></p> <p><内容></p> <p>①デジタル・トランスフォーメーションに関する基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとデジタル技術 ・3つのデジタル化（プロセス改革、デジタル技術導入、公共イノベーション） ・主要デジタル技術（AI、RPA、IoT、ロボティクス、ドローン、ブロックチェーン、AR/VR、クラウド、eKYC） <p>②自治体におけるデジタル・トランスフォーメーションを推進する目的・意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューノーマル時代のDX ・コロナ禍での行政デジタル化の課題と対応 ・国や自治体、諸外国の動向

	<p>③自治体におけるデジタル・トランスフォーメーションの実例（組織改革、マネジメント、緊急事態宣言発出時の実際の対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXの推進体制と外部人材の活用 ・コロナ禍で進んだサービス改革（内製化、アジャイル型開発、オープン化） ・テレワークとコミュニケーションのデジタル化 <p>④自治体におけるデジタル・トランスフォーメーションの今後の展望・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体にとっての3つのD（デジタル・データ・デザイン） ・デジタル格差への対応 ・DX推進に向けた人材育成のあり方
<p>【受講生の声】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい日常として、DXが推進されることは必須なので、住民サービス向上のためにも出来るだけ早く取り組むべきだと考えました。特にデジタル前場で業務を再設計するという考え方は非常に重要な視点であると思いました。 ・職員に限られる中、効率化のためにはDXを最大限活用する必要があると認識していたが、「ユーザー中心」という視点は欠けていたと思います。「区民サービスの向上」の点から、さらに考えていく必要があると思いました。 ・「デザイン思考」は最近トレンドとしてよく聞く言葉ですが、システム・デジタルサービス設計の中でこれ程重要な定義になるとは気づきませんでした。感動しました。 ・縦割りの組織だけでなく、組織にとらわれないPTを立ち上げ、DX推進のために動いていくべきと感じました。本研修を幅広い職層の職員に受講させるべきと感じました。